

▲▲ 山で遭難しないために

近年、市内の山で発生した遭難救助はコロナ禍の期間を除き、増加しています。発生場所は、相馬岳や鷹戾しなどの「表妙義」と、丁須の頭や谷急山など「裏妙義」地域の難しいコースが大半ですが、中には霧積温泉や旧中山道周辺の登山道など、それほど危険と言われていない場所でも道迷いや滑落が起きています。

山に絶対安全はありません。ベテラン登山者でも、自分は大丈夫と思っ

ていても、遭難の危険性があります。どんなに登山道を整備しても、計画に不備や、自分の体

力に不足があれば何の意味もありません。安全な登山のため、もう一度考えてみましょう。

最後に、今回の点検整備の参加メンバーから、山で事故に遭わな

いたためのアドバイスなどをお聞きしました。それでは、自分に合った、無理のない登山をお楽しみください。

最近5年間にける安中市内の山岳救助件数



会長 松井田山岳会
佐藤悦良さん



■松井田山岳会はどのような活動をしている団体ですか

登足以来、遭難救助活動や登山道整備(鎖の設置)など、妙義山の登山者が安心して楽しめるよう、

関係機関と協力し活動しています。

■地元山岳会として、妙義山はどんな山だと思いますか

低山ですが山の厳しさや怖さ、楽しさを十分に教えてくれる、多くの「岳人」に自慢できる素晴らしい山です。

■妙義山は「危険」という印象がありますが、どう思いますか。また、山岳遭難を防ぐため心構えをお願いします

一般登山道として地図に載っているコースも鎖場が多く、体力(特に腕力)が必要です。自分の力に合ったコースを徐々にグレードアップし、妙義山の魅力を見つけ

てほしいです。
また、登山計画書の提出はもちろん地図やヘッドランプ、雨具、防寒着は季節を問わず必携。少しの油断で道を間違え、路肩を踏み外すなどの事故につながる

安中市遭難者救援隊

山の安全を守る人たち

■山岳救助に携わる中で、妙義山での事故・遭難に共通点などありますか

登山者の体力不足や登山道を外れる道迷いがあります。妙義山は鎖場などの危険な所も多く、不安を感じたら引き返す判断も必要です。

また、登山道点検整備で道標や目印などを設置しているので、それらに沿って登りましょう。もしも目印を見失ったら最後に確認した所まで戻り、正しい道まで引き返すことが大切です。

■妙義山に登ろうと思っている人に、アドバイスや心構えをお願いします

「妙義山はあまり標高が高くない」と油断しがちですが、「群馬県山のグレーディング」によれば、技術的難易度は上から2番目で、県内には「最難関」はないので実質一番難しい山と言えます。

そのため、装備をしっかりと整え、時間に余裕をもった計画を立てることが重要です。地図や山岳アプリの使用もおすすめです。ま



安中消防署郷原分署
消防1係 高橋良太さん

た、入山時には登山計画書を忘れずに提出し、万一来に備えてください。

妙義山は、四季折々の豊かな表情をもつ魅力的な山です。安全な登山を心掛け、楽しんでください。